

試験日 ： 2026 年 2 月 23 日（月）

入試種別 ： 大学院入学試験(4 月入学)博士後期課程 春期試験

学部・研究科：文学研究科 日本史学専攻

科目名 ： 第 2 群 ④古典漢文

解答又は解答例

当該科目は、博士後期課程進学後の研究に必要となる知識と、史資料の読解能力を問うものである。解答が一義的でなく解答例の提示はなじまないことから、以下に出題方針と採点のポイントを示す。

日本史学専攻の博士後期課程では、全分野のゼミにおいて、文献史学の一定程度の能力を修士課程で身につけていることを前提としている。したがって、第 2 群④古典漢文（日本史学）試験として、受験生が各自の研究テーマに関連する時代の史料のみならず、隣接する時代の史料の読解能力を問うている。受験生は、古代史・中世史・近世史・近現代史の四題から二題を選択することとしている。

採点については、以下の点を踏まえて総合的に評価する。

- ・ 史料を正しく読めること。
- ・ 史料を正しく理解できていること。
- ・ 史料の歴史上の位置づけを的確に把握していること。
- ・ 史料中の語句や制度、人物などの知識を有すること。
- ・ 史料を的確に現代語に訳すことができること。
- ・ 当該史料に関わる研究史に関する知識を有していること。
- ・ 当該史料に関わる研究上の課題や展望に触れていること。
- ・ なお、誤字や脱字、用語の誤用は減点を行う。